

# 予防計画・医療計画(案)について

資料 1

## 第2回連携協議会（10/23～）以降の県の取組み

### 1. 予防計画・医療計画

- 第2回連携協議会での意見等を踏まえ、計画（案）を追記・修正。
- 医療審議会（12/22）、厚生環境委員会（12/13）において計画（案）の概要を報告。
- 県内市町村（組合）への意見照会及びパブリックコメントを実施。

### 2. 感染症病床の強化検討

- 第2回連携協議会での意見及び感染症病床の強化に係る意向調査を踏まえ、富山大学附属病院の第一種感染症指定医療機関の指定を検討。

### 3. 医療措置協定など

- 病院・診療所、薬局、訪問看護事業所と順次協定を締結。
- 民間検査機関、民間宿泊業者との協定締結に向けて調整中。

### 4. 健康危機対処計画

- 衛生研究所、保健所・厚生センターでそれぞれ健康危機対処計画検討委員会を開催。

## 参考：第2回連携協議会後のスケジュール

内容 協定締結先	連携協議会・医療審議会	予防計画・ 医療計画（感染症）	協定締結	
			病院・診療所、 薬局、訪問看護事業所	事業化検討
11月	厚生センター等健康危機対処計画 検討委員会③(11/13)	感染症病床の強化に係る意向調査 (11/24～12/8)	医療措置協定案策定 医療機関等との協議	R6予算要求
12月	医療審議会(12/22)	計画案作成 厚生環境委員会(12/13)	訪問看護事業所 協定締結 (12/12～)	
1月	衛研健康危機対処計画検討委員会③ (1/29)	庁内各課、保健所・厚生センター、 衛研 意見照会 (1/15～1/26)	薬局 協定締結 (12/21～)	
2月		市町村意見照会 (2/2～2/22) パブリックコメント (同上)	病院・診療所 協定締結 (2/5～)	R6当初予算案 発表 (2/19)
3月	●連携協議会③（書面開催） 厚生センター等健康危機対処計画 検討委員会④(3/15) 医療審議会 (3/28)（諮問・答申）			
4月	予防計画・医療計画・健康危機対処計画 策定		協定正式締結(～R6.9完了を目途)	R6事業実施

# 富山県感染症予防計画の改訂内容

予防計画の項目	記載事項（新興感染症に対応する体制の整備）
感染症の発生の <b>予防・まん延防止</b> のための施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症対策連携協議会の設置により、関係機関との連携の緊密化を図る。</li> <li>○平時から<b>社会福祉施設や清掃業者等への感染対策指導</b>を実施。</li> <li>○医師会や歯科医師会、看護協会等の関係団体と連携した<b>臨時的予防接種実施体制の構築</b>や<b>ワクチンの安定的供給の実施</b>。</li> <li>○平時から県と検疫所の連携を強化。</li> </ul>
感染症及び病原体等に関する <b>情報の収集、調査及び研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国が整備する<b>感染症サーベイランスシステムなどの情報基盤を活用</b>するよう医療機関に協力依頼。</li> <li>○疫学調査支援チームによる実地疫学調査の支援及び感染症情報センターにおける感染症サーベイランスの評価と改善・活用。</li> </ul>
病原体等の <b>検査の実施体制及び検査能力の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛生研究所健康危機対処計画を策定し、<b>衛生研究所における健康危機管理体制を強化</b>。</li> <li>○医療機関との医療措置協定及び民間検査機関との検査措置協定の締結により検査体制を確保。</li> </ul>
感染症に係る <b>医療を提供する体制の確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症の発生・まん延時に速やかに医療提供体制を構築するため、<b>医療機関との医療措置協定で医療提供体制</b>（入院、発熱外来、自宅療養者等への医療の提供、後方支援、人材派遣、個人防護具の備蓄）を<b>確保</b>。</li> <li>○感染症病床の増床や感染症指定医療機関の追加指定の検討（県立中央病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院）。</li> <li>○県や保健所設置市による個人防護具の備蓄体制の確保の検討。（令和6年度に新型インフルエンザ等対策行動計画を改訂）</li> </ul>
感染症の <b>患者の移送のための体制の確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>感染症患者の移送に係る消防機関との役割分担・連携事項を整理</b>、協定の締結を検討。</li> <li>○厚生センターによる移送に必要な備品の整備を検討。</li> </ul>
<b>宿泊施設の確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症流行初期の対応や、自宅療養者の家庭内感染、医療体制のひっ迫を防ぐ等の観点から、民間宿泊業者と宿泊施設確保措置協定の締結により<b>宿泊施設を確保</b>。</li> </ul>
新型インフルエンザ等感染症外出自粛対象者又は新感染症 <b>外出自粛対象者の療養生活の環境整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外出自粛対象者の体調悪化時などに、適切な医療に繋げるための健康観察の体制整備。</li> <li>○外出自粛により生活上必要な物品等の物資の入手が困難になる場合の生活支援を実施。</li> <li>○高齢者施設や障害者施設等で<b>療養を継続する場合の施設内の感染まん延防止体制を構築</b>。</li> </ul>
<b>総合調整又は指示</b> の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県による平時からの総合調整権限や感染症発生・まん延時における指示権限の創設。</li> <li>○<b>県対策本部の役割・機能の見直し</b>の検討。（令和6年度に新型インフルエンザ等対策行動計画を改訂）</li> <li>○対策本部の組織体制において<b>健康危機管理リーダーの設置</b>や<b>災害医療コーディネーターの活用等</b>も検討。</li> </ul>
予防啓発及び正しい知識の普及、 <b>患者等の人権の尊重</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>患者や医療従事者、その家族などに対する差別的取扱い等の防止</b>に取り組む。</li> <li>○人権に関する県民意識調査に新型コロナに関する設問を予定（令和5年度実施予定）。</li> </ul>
感染症の予防に関する <b>人材の養成及び資質の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富山大学や富山県看護協会等との連携による<b>感染症専門医や感染管理認定看護師の育成</b>。</li> <li>○院内感染対策講習会、健康危機マネジメント研修等の開催や感染症危機対応訓練の実施。</li> </ul>
感染症の予防に関する <b>厚生センターの体制の確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○厚生センター健康危機対処計画を策定し、<b>保健所における健康危機管理体制を強化</b>。</li> <li>○<b>IHEATを活用し</b>、感染症発生・まん延時における応援体制を構築。</li> </ul>

# 新興感染症発生・まん延時における医療提供体制(案)

- 発生早期、流行初期、流行初期以降の各段階において必要な医療提供体制を速やかに立ち上げ。
- 各段階における体制の規模は、新型コロナウイルス感染症対応で確保した最大規模(流行初期R2. 12、流行初期以降R4. 12)を目安としつつ、感染症の性状や感染動向を踏まえながら、臨機応変に対応。

発生早期 (感染症発生公表前)		流行初期 (感染症発生公表から3か月程度)		流行初期以降 (感染症発生公表後3か月～6か月)	
入院	感染症指定医療機関 第一種：富山県立中央病院 2床 第二種：黒部市民病院 4床 富山大学附属病院 3床 富山市民病院 6床 高岡市民病院 6床 市立砺波総合病院 4床	入院	感染症指定医療機関 (第一種1機関、第二種5機関) 第一種：富山県立中央病院 2床 第二種：黒部市民病院 4床 富山大学附属病院 3床 富山市民病院 6床 高岡市民病院 6床 市立砺波総合病院 4床	入院	感染症指定医療機関 (第一種1機関、第二種5機関) 第一種：富山県立中央病院 2床 第二種：黒部市民病院 4床 富山大学附属病院 3床 富山市民病院 6床 高岡市民病院 6床 市立砺波総合病院 4床
発生段階に応じた医療提供体制		外来	第一種協定指定医療機関 228床 (31機関) (病床確保) 流行初期医療確保措置対象 128床 (10機関) 第二種協定指定医療機関 207機関 (2,075人/日) (発熱外来) 流行初期医療確保措置対象 85機関 (1,502人/日) 第二種協定指定医療機関 (自宅療養者等への医療提供) 病院・診療所 223機関 薬局 319機関 訪問看護事業所 51機関	外来	第一種協定指定医療機関 502床 (35機関) (病床確保) 第二種協定指定医療機関 336機関 (2,897人/日) (発熱外来) 第二種協定指定医療機関 (自宅療養者等への医療提供) 病院・診療所 232機関 薬局 328機関 訪問看護事業所 56機関
1 発生早期	第一種及び第二種感染症指定医療機関を中心に対応 : 新興感染症への対応強化のため、 ・富山県立中央病院の感染症病床の増床を検討 ・富山大学附属病院の第一種感染症指定医療機関の指定を検討 ・厚生連高岡病院の第二種感染症指定医療機関の指定を検討	自宅療養者等への医療提供	通常診療病院・診療所 10機関 バックアップ病院 37機関	自宅療養者等への医療提供	通常診療病院・診療所 10機関 バックアップ病院 42機関
2 流行初期	上記に加え、流行初期医療確保措置の対象となる医療措置協定を締結した医療機関を中心に対応	後方支援医療機関	衛生研究所等 432件/日 県内宿泊施設 250室	後方支援医療機関	衛生研究所等 2,942件/日 県内宿泊施設 760室
3 流行初期以降	上記に加え、すべての医療措置協定を締結した医療機関が対応	検査		検査	
		宿泊施設		宿泊施設	

**特に配慮が必要な患者への対応**  
 精神疾患、小児、周産期、透析など特に配慮が必要な患者への対応は、新型コロナウイルス感染症対応で構築された専門医会のネットワーク等と連携し、感染症以外の疾患の特性に応じた受入医療機関の設定や入院調整体制の構築等を実施。

- 移送および相談先**
- ・保健所、厚生センター
  - ・県内消防機関との連携、民間事業者等への業務委託等
  - ・子ども医療電話相談 (#8000)

- 人材派遣 (医師37名、看護師65名)**
- ・感染症医療担当従事者
  - ・感染症予防等業務対応関係者
  - ・DMAT、DPAT など

- 備蓄 (個人防護具:243機関) : 各医療機関2ヶ月分**
- ・サージカルマスク
  - ・N95マスク
  - ・フェイスシールド
  - ・非滅菌手袋
  - ・アイソレーションガウン

**地域医療支援チーム (感染症指定医療機関及び地域医療機関 (19機関))**  
 黒部市民病院・富山県立中央病院・富山市民病院・富山大学附属病院  
 市立砺波総合病院・厚生連高岡病院・富山労災病院・富山赤十字病院  
 済生会富山病院・厚生連滑川病院・かみいち総合病院・国立富山病院  
 富山西総合病院・氷見市民病院・射水市民病院・真生会富山病院  
 北陸中央病院・砺波市民病院・公立南砺中央病院

**富山県感染症対策連携協議会**

- ・平時：連携協力体制の整備
- ・有事：医療提供体制・感染対策の協議



# 時系列に応じた新興感染症の医療提供体制(案)

体制	平時	発生早期	流行初期	流行初期以降	低減期
	連携協議会等で情報共有 医療措置協定等を締結	感染症発生 1週間以内	感染症発生公表 から3ヶ月程度	感染症発生公表後 3ヶ月～6ヶ月	感染が 収まった時期
医療提供体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一種感染症指定医療機関</li> <li>○第二種感染症指定医療機関</li> <li>○第一種協定指定医療機関</li> <li>○第二種協定指定医療機関（薬局・訪問看護事業所含む）</li> <li>○後方支援医療機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一種感染症指定医療機関</li> <li>○第二種感染症指定医療機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一種感染症指定医療機関</li> <li>○第二種感染症指定医療機関</li> <li>○第一種協定指定医療機関</li> <li>○第二種協定指定医療機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一種感染症指定医療機関</li> <li>○第二種感染症指定医療機関</li> <li>○第一種協定指定医療機関</li> <li>○第二種協定指定医療機関（薬局・訪問看護事業所含む）</li> <li>○後方支援医療機関</li> </ul>	○平時の医療提供体制に移行
検査体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県衛生研究所</li> <li>○医療機関</li> <li>○民間検査機関</li> </ul>	○県衛生研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県衛生研究所</li> <li>○厚生センター・保健所</li> <li>○医療機関</li> <li>○民間検査機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県衛生研究所</li> <li>○厚生センター・保健所</li> <li>○医療機関</li> <li>○民間検査機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県衛生研究所</li> <li>○厚生センター・保健所</li> </ul>
宿泊療養体制	○県内宿泊施設	○県内宿泊施設	○県内宿泊施設	○県内宿泊施設	○県内宿泊施設
本庁体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指揮命令系統訓練</li> <li>○人材確保・育成</li> </ul>	○県対策本部立上げ	新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂において具体的に検討		
厚生センター・保健所体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指揮命令系統訓練</li> <li>○人材育成</li> <li>○検査機器機能整備</li> </ul>	○厚生センター対策本部立上げ	健康危機対処計画において具体的に定める		
衛生研究所体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指揮命令系統訓練</li> <li>○人材育成</li> <li>○検査機器機能整備</li> </ul>	○衛生研究所対策本部立上げ			

# 医療提供体制等の確保に係る数値目標(案)

体制	実施機関	流行初期（初動対応）	流行初期以降	
		富山県の目標	富山県の目標	
病床	医療機関	<b>228</b> 床（新型コロナ実績：39床）	<b>502</b> 床（新型コロナ実績：362床）	
発熱外来		<b>207</b> 機関（新型コロナ実績：158機関）	<b>336</b> 機関（新型コロナ実績：229機関）	
自宅療養者等への医療提供		/	/	<b>232</b> 病院・診療所 <b>328</b> 薬局 <b>56</b> 訪問看護事業所
後方支援				<b>52</b> 機関
人材派遣				医師 <b>37</b> 名 看護師 <b>65</b> 名
個人防護具の備蓄		<b>328</b> 機関（事前調査結果：243機関）		
検査能力 (核酸検出検査)	合計	<b>432</b> 件/日	<b>2,942</b> 件/日	
	衛生研究所 厚生センター 市保健所	<b>298</b> 件/日		
	検査機器台数	<b>9</b> 台（衛生研究所・保健所・厚生センターの検査機器）		
	医療機関	<b>134</b> 件/日	<b>2,230</b> 件/日	
	民間検査機関	(必要に応じて実施)	<b>414</b> 件/日	
宿泊療養施設 確保居室数	民間宿泊業者	<b>250</b> 室	<b>760</b> 室	
保健所人員確保数	新川： <b>53</b> 人 中部： <b>35</b> 人 高岡： <b>91</b> 人 砺波： <b>50</b> 人 富山市： <b>85</b> 人			
IHEAT要員確保数	<b>22</b> 人			
研修・訓練回数	協定締結医療機関の医療従事者、厚生センター・保健所職員等に対する研修及び訓練を <b>年1回以上実施</b>			

出典：予防計画・医療計画策定や協定締結等に先立つ医療機関調査（事前調査）等により作成。

# (参考)特に配慮が必要な患者に係る医療提供体制

	新型コロナ対応	
	受入医療機関の設定・入院調整体制の構築など	受入医療機関（実績）
精神疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナに罹患した精神疾患を有する患者の入院受入医療機関の設定。また、精神疾患及び新型コロナの重症度も考慮した受入医療機関を設定。</li> <li>○精神科救急における新型コロナ対応体制を整備。</li> <li>○精神疾患を有する患者が円滑に入院するため、精神科医と連携した入院調整体制を整備。（精神科リエゾンと連携しながら入院調整。第7波から専門医間で入院調整。）</li> </ul>	<b>精神疾患軽症</b> 感染症指定医療機関 ※クラスター発生時：病床の使用状況により、患者発生病院での療養もあり得る
		<b>精神疾患重症</b> 富山県立中央病院 富山市民病院 高岡市民病院 市立砺波総合病院
妊産婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナに罹患した妊産婦の入院受入医療機関の設定。また、産科的緊急措置が必要な妊産婦や新生児搬送の対象となる未熟児等に対応する入院受入医療機関を設定。</li> <li>○産科的に入院が望ましい妊産婦が円滑に入院するため、産科医と連携した入院調整体制を整備。（富山県産婦人科医会等と連携しながら入院調整。第5波のピーク後から専門医間で入院調整。）</li> <li>○妊産婦が宿泊療養・自宅療養を行う際は、産科医との連携による健康管理体制を構築。</li> </ul>	<b>正常</b> 黒部市民病院 富山県立中央病院 富山市民病院 高岡市民病院 ※富山大学附属病院・厚生連高岡病院は県内状況により支援
		<b>未熟児リスクの伴う出産</b> 富山県立中央病院 ※富山大学附属病院・厚生連高岡病院は県内状況により支援
小児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナに罹患した小児の外来・入院受入医療機関の設定。</li> <li>○無症状の小児患者の管理方針の設定。自宅療養時の健康管理体制を構築。</li> <li>○県内の小児科医間でメーリングリストを作成し、医会全体で情報共有。</li> <li>○小児が円滑に入院するため、小児科医と連携した入院調整体制を整備。（富山県小児科医会と連携しながら入院調整。第5波のピーク後から専門医間で入院調整。）</li> <li>○小児が自宅療養を行う際は、小児科医との連携による健康管理体制を構築。</li> </ul>	<b>軽症</b> 黒部市民病院 富山県立中央病院 富山市民病院 高岡市民病院 市立砺波総合病院 ※富山大学附属病院・厚生連高岡病院、富山赤十字病院は県内状況により支援
		<b>重症</b> 富山県立中央病院 富山大学附属病院
透析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナに罹患した透析患者の外来・入院受入医療機関の設定。</li> <li>○透析患者が円滑に入院するため、透析専門医と連携した入院調整体制を整備。（富山県透析医会と連携しながら入院調整。第7波から専門医間で入院調整。）</li> <li>○入院受入医療機関の病床ひっ迫時におけるかかりつけ医療機関での透析実施体制を構築。</li> </ul>	<b>軽症</b> 黒部市民病院 富山県立中央病院 富山市民病院 高岡市民病院 市立砺波総合病院 ※富山大学附属病院は県内状況により支援
		<b>重症</b> 富山県立中央病院 富山大学附属病院